

個別事業(取組)評価				
事業No.	10	施策の柱への位置付け	柱② 教員指導力改革	
事業名称	学校サポート事業		担当課	教育政策課
			当初予算額(千円)	1,942
			補正後予算額(千円)	1,601
		決算額(千円)	1,169	

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 ◆ 県教委として、本県の教育の諸課題に対し様々な施策を実行してきたが、成果の現れ方には学校によって差が生じている。また、改善の伸びも鈍化している。 ※「全国学力学習状況調査」、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」等の結果より	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 「平成23年度全国学力・学習状況調査」において、小学校は全国並みに到達している。中学校は全国平均に近づいているものの、国語A・B、数学A・Bともに全国を下回り、依然として厳しい状況が続いている。また、小・中学校ともに、学校によって成果の現れ方の差が大きい。
		【要因】 ◆ 学校において ・ 種々の施策をツールとして、必要な場面に応じて適切に活用することができていない可能性がある。 ・ 施策の効果を妨げる別の要素がある可能性がある。(教職員の風土、士気、意識合わせ等)	イ 十分に特定していたか (Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 組織としての課題要因(学校マネジメントに関する校長のリーダーシップ不足や教職員の理解不足など)を解決するための手掛かりを得ることで、施策の実効性向上を目指す事業である。
②	目標(Outcome)	＜学校経営サポート＞ ◆ 平成23年度末までに「経営診断推進校」(小中計40校)の80%で組織改善を達成する。 ＜学校問題サポート＞ ◆ 9月までに、保護者・住民からの意見・要望等に対する教職員の心理的負担を軽減し、教職員が教育活動に専念できる体制を作るための直接的なツールを整備する。	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 達成可能な目標であり、校長への聞き取り調査により検証も可能であると判断している。
		【検証(比較)方法】 ＜学校経営サポート＞ ◆ 「学校経営診断カード」による2回目アンケート調査 ◆ 市町村教委訪問、学校訪問 ＜学校問題サポート＞ ◆ 市町村教委、県立学校におけるその後の対応状況の確認	エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ＜学校経営サポート＞ 学校経営診断カードによるアンケート調査と結果の分析を通して、県内小中学校97校(経営診断推進校40校、診断参加校57校)において組織状態を把握することができた。そして、分析結果の送付や経営診断推進校への学校訪問を行うことによって、組織改善の方向性や具体的方策を示すことができた。さらに、経営診断推進校については2回目のアンケート調査を行い、1回目と比較することで、組織改善の成果を検証し取組みの方向性を示すことができた。成果として、9割以上の経営診断推進校の校長が、学校経営への参画意識が高まるなどの教職員の意識の変容や職場の雰囲気の高揚を感じたという感想を述べている。 ＜学校問題サポート＞ 7月に学校問題サポートチームを設置し、保護者・住民からの意見・要望等に対する教職員の心理的負担を軽減し、教職員が教育活動に専念できる体制を作るための直接的なツールを整備することができた。成果として、サポート依頼のあった県立学校においては、サポートチームからの専門的な助言に基づき校長が対応方針を決定することができた。
③	実施内容(Input・Output)	＜学校経営サポート＞ ◆ 経営診断推進校、診断参加校の募集(6月) ◆ 「学校経営診断カード」によるアンケートの実施(7月) ◆ 学校経営診断結果分析研修会の開催(8月) ◆ 学校経営診断研究会による推進校40校への学校訪問(10月) ◆ 推進校40校を検証するための2回目アンケートの実施(2月) ＜学校問題サポート＞ ◆ 学校問題サポートチームの設置(7月) ◆ 市町村教委、県立学校への周知(8月～9月) ◆ 市町村教委、県立学校からの依頼に基づくサポートチーム会議の開催(随時)	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ＜学校経営サポート＞ 学校経営診断カードによるアンケートの実施、診断結果分析研修会の開催、経営診断推進校への学校訪問、2回目のアンケートの実施など、計画通り事業を実施することができた。また、当初の計画にはなかったが、各教育事務所において、指導主事及び市町村指導事務担当者を対象に学校経営診断の活用方法に関する研修を実施した。 ＜学校問題サポート＞ 県立学校からの依頼により、サポートを実施。迅速な対応を要する事案であったため、会議を開催せず、対応可能な委員を訪問し、学校には文書により助言を行った。

総合評価と今後の方向	目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	【今後の方向】 ＜学校経営サポート＞ 平成24年度には経営診断推進校を50校に増やし、組織改善の必要性について啓発し、改善の方向性や具体的方策を示していく。データ分析及び学校訪問については当面、学校経営診断研究会の協力を得ながら行っていくが、将来的にはすべての小中学校で簡易分析ができるようにする。 ＜学校問題サポート＞ 校長会や教育長会でサポートチームについて周知を図る。また、相談事案に対する助言後の市町村教委・学校の取組や成果について検証できるように情報収集を行う。
	【総合評価】 学校経営サポート及び学校問題サポートとも当初の計画通り事業を実施し、一定の成果は出ている。学校経営サポートについては、1回目のアンケート実施が遅れたため、2回目までの期間が短くなったことが反省点である。学校問題サポートについては、さらにサポートチームの周知を図っていく。	